2019 年度実施概要

学校名

北海道厚岸翔洋高等学校

採択活動名

森・川・海のつながりから地域の環境特性を理解するとともに、地域産業を通して海の仕事の魅力を知る。

取り組みの概要

1　目的

地域の環境特性を理解し、地域の課題解決に向けた探究的な学習を行うことで、情報を収集し、整理・分析する能力を身に付けるとともに、身に付けた知識を活用し、他者と協働することにより具体的な課題解決を図る姿勢及び能力を身に付けさせることをとおして、持続可能な地域社会の担い手を育成すること。

2　取組の概要

(1) 小学生、中学生との地引網による生物及び環境調査実習（令和元年６月４日、７月２日）

海洋資源科生産技術コース２学年 16 名が、厚岸中学校１学年 30 名、真龍小学校３学年 40 名と厚岸町真栄の干潟にて実施。本校生徒が地引網及び採集生物について小中学生に説明した。（総合実習）

(2) カキ養殖実習（通年）

海洋資源科生産技術コース２学年 16 名が、地域の地場産業の一つであるカキ養殖について、かご替えや殻掃除などに取り組んだ。（総合実習）

(3) 海産物を活用した商品開発（通年）

海洋資源科３学年 26 名が、各班毎に商品開発に取り組んだ。未利用水産資源の活用や、厚岸湾の海水による塩の製造を行った。（課題研究）

(4) 沿岸漁業実習（通年）

海洋資源科２学年 26 名、３学年 26 名が、地域の中心的な漁法である刺し網やかご等の漁業実習を行った。（総合実習・課題研究）

(5) 小・中・高クリーン大作戦（令和元年６月 28 日）

厚岸町湖南地区小中高３校合同で約 350 名によるごみ拾いを行った。

(6) 出前授業（令和２年２月 10 日）

海洋資源科３学年２名が、課題研究の研究成果を、厚岸町内中学生に発表した。（課題研究）

(7) 地元漁業者セミナー（令和２年３月を予定していたが、今年度実施できず）

海洋資源科２学年を対象に、厚岸町内の漁業者を本校に招き、漁業の実際について説明していただき、将来の進路選択の一助とすることを目的としている。（総合的な学習の時間）

活動中の写真

デジタルデータにて 2～3 枚の添付をお願いします。

実施単元名　※実施した単元の数に応じて記載してください

1. 調査研究・商品開発
2. 漁業実習
3. 講話